



外部脅威から公開サーバーを防御

JNXセキュリティゲートサービス

JNXでは、ご意見、ご要望を分析し、特に多い困りごとである「セキュリティ」に関する新たなサービスを提供します。
 ※先行サービス開始（2019年4月予定）、本サービス開始（2019年10月予定）

困りごと（課題）	課題を解決する新サービス
仕入先の負担を考えるとインターネット利用のWeb-EDIが良いが、自社のセキュリティ負担も大きい	仕入先は現状の接続構成のままでJNXにアクセス可能
セキュリティ対策は外部にアウトソースしているが、費用の妥当性が判断できない	JNXを有効利用することで、最適なセキュリティ対策を低料金で提供
セキュリティ対策の必要性は理解しているが、社内にスキルをもった人材が少なく、十分に対応できていない	安全なネットワークの提供とともにセキュリティ関連の情報提供、セキュリティ診断などでサポート

JNXセキュリティゲートサービスの特徴

1. 新しいサービス利用形態

従来のJNX接続サービスと違い、現在利用しているJNX回線を使いJNXにサーバー公開することで、仕入先のJNX加入契約を必要としない新たなサービス形態として提供します。

2. 信頼性の高いネットワークで外部脅威をガード

インターネットとの接続点にセキュリティゲートを設置することでJNX網に接続されているサーバーを保護します。

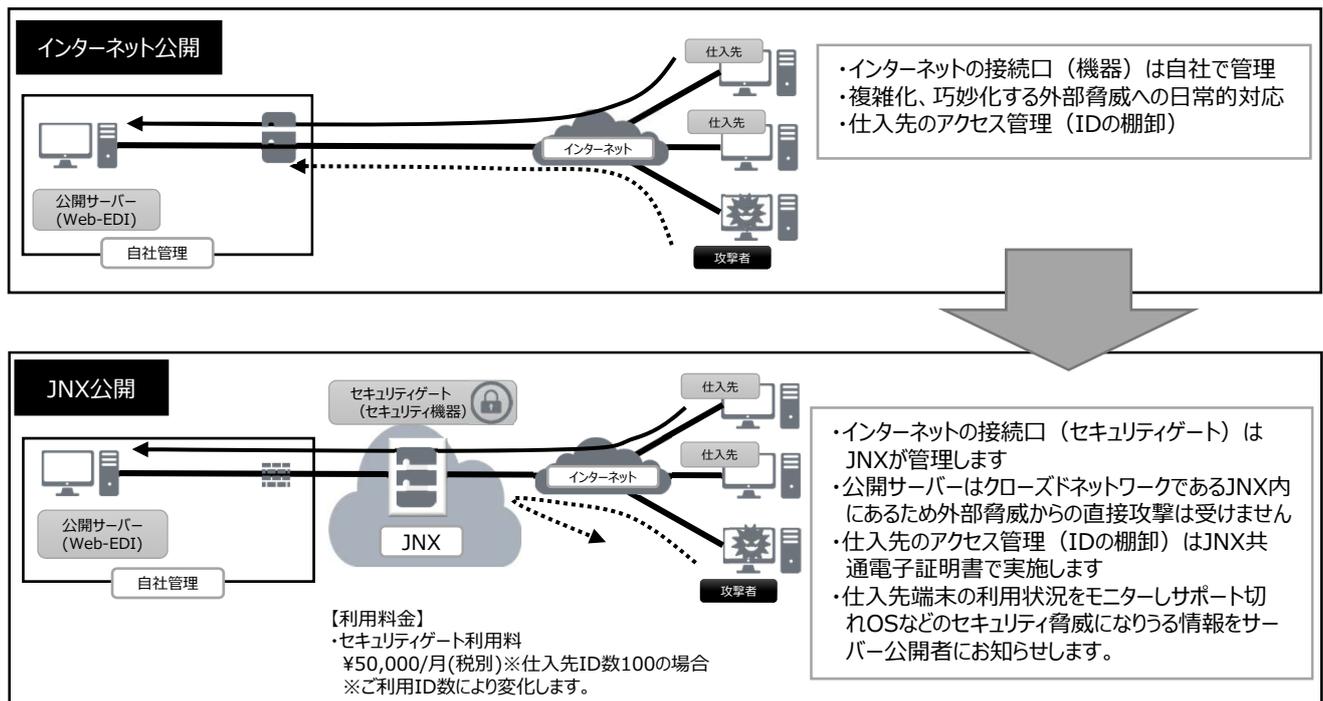
3. JNX共通電子証明書を使ったアクセスコントロール

仕入先にJNX共通電子証明書を配布し接続認証を行うことで、アクセスコントロールを行います。

JNXセキュリティゲートサービスの概要

現在、サーバーをインターネット公開し、仕入先とインターネット経由で受発注を行っているJNXコアユーザーに向けた新たなセキュリティサービスとなります。

新サービスは「インターネット公開」から「JNX公開」に変更していただくことで、指定した仕入先とインターネットの専用接続口（セキュリティゲート）経由で安全に接続することが出来ます。外部脅威に対するセキュリティ機器をJNXが管理運用しますので、セキュリティ対策負担を軽減することが可能です。



※本サービスは、すべてのサイバー攻撃に対応できるものではありません。セキュリティ対策のひとつの選択肢として、ご検討ください。
 (問合せ先) 一般財団法人 日本自動車研究所 JNXセンター TEL : 03-5733-7933 mail : contact@jnx.ne.jp